

# 松下純子通信

おはようございます。まつしたじゅんこです。自分が生まれ育った大好きな文京区を、安心して暮らせる豊かな街にするために、区政とみなさんの生活をつなげるパイプ役として、毎日がんばっています。

- ◆ 文京区議会議員
- ◆ 総務区民委員会
- ◆ 清掃・リサイクル調査特別委員会
- ◆ 防災・安全安心まちづくり調査特別委員会



## ◇◇◇◇◇ 第三回議会定例会ではじめての一般質問に立ちました ◇◇◇◇◇

一般質問の主な内容は次のとおりです。

### ◆ 子育て支援について

- 現在区のおこなっている緊急一時保育は保育園 4 園、一日の定員 12 名を受け入れていますが、核家族が多い文京区では十分な数であるとはいえません。受け入れ人数の増員が必要です。
- 病後児保育は、区の受け入れ施設は一箇所、一日の受け入れは 6 名までとなっています。少子化対策の一つとして、他の医療機関と連携して受け入れ人数を増やすことが必要です。

### ◆ 防災対策について

- 能登地震では小・中学校だけでなく、児童館を避難所として使い住民の方に好評でした。区でも首都直下地震の避難所生活者数想定が 4 万 2 千人に増加したことを配慮して、児童館などを新しく避難所として追加指定することが必要です。

- ◇その他の質問事項 ◆区の広報活動 ◆シビックセンターの有効活用 ◆公共施設の改築・改修  
◆元町公園の整備計画と総合体育館の建て替え



## ◇◇◇◇◇ ごみ・資源の分け方・出し方がわかります ◇◇◇◇◇

ゴミ収集車に同乗する貴重な機会をいただきました。生ごみは水気を切る、とがったものは新聞紙で包むなど、ちょっとした配慮で環境や作業して下さる方への負担を減らす事ができます。中が見える透明の収集車を使って、子供のごみに対する意識を高める活動もしています。現在区ではサーマルリサイクルへの移行準備として一部モデル地区からごみ・資源の出し方を変更しています。ご協力ください。



参加区議の皆さんと出発前の記念撮影

## 区で唯一の病後児保育を実施している保坂こどもクリニックを訪問しました

現在区で唯一の病後児保育を実施している保坂こどもクリニック(白山5-27-12)を訪問しました。一日の定員は6名で、事前に予約が必要です。昨年度までは一日の定員が4名でしたが、希望者が多いので今年度から6名に増員されました。保坂先生には病後児保育の特徴と運営の問題点をお聞きしました。共働き世帯の多い文京区ではこれからも病後児保育の制度が求められていきます。区でも他の医療機関との連携をはかり、受け入れ人数を増加させていく方針ですが、一日も早く実現するように松下純子も訴えていきます。



能登地震の際には、いちボランティアとして復興に参加しました

### 防災に備える街づくりを！

総合防災訓練が8月26日におこなわれました。炊き出し訓練や、バケツルレー、応急救護訓練など、災害が発生した際にはすぐに役立つ訓練となりました。東京を直下型地震が襲った場合、今までの想定避難者は今回から約4万2千人に修正されました。今までの避難

所は区立小中学校でしたが、それだけでは収容人数が足りないのが現状です。19年3月に発生した能登半島地震の際には、全国の自治体で初めて児童館を避難所として利用し、こどもたちだけでなく、地元の方によるこばれました。松下純子は災害時に児童館を

避難所として利用することを区に提案しました。この制度の実現にむけて努力してまいります。この他、起震車を何度も体験してもらえるように、上からもものが落ちてくるなどの仕掛けを工夫し、リアルな体験を通じて震災に備える心構えをする機会をひろめていきたいです。



子どもたちと起震車体験



長年赤十字で奉仕されている  
地元支援者の方と防災訓練参加

### ◇◇日々勉強の毎日です◇◇

おかげさまで、4月の統一地方選で無事当選し、文京区議会議員となることができました。まだまだ勉強しなければならぬことがたくさんあります。武蔵野市や千代田区、障害者雇用の進んでいる大津市などいろいろな自治体に視察で伺っています。そのたびに、この制度を文京区に持つにはどうしたらいいか？など考えること、解決することは山積みですがひとつひとつ取り組んでいきます。



新しい可能性を感じた千代田区のパン屋さん



お世話になっている都議の増子議員と駅頭

### 民主党文京支部勉強会



11月24日、民主党文京支部の勉強会が行われました。当日は100名以上の参加があり政治評論家の森田実先生の講演と、中山よしかつ前衆議院議員によるパネルディスカッションも行われ大変有意義な集まりとなりました。これからもこういった勉強を進めていきたいと思っています。

### 元気な母、松下純子が動きます！

- ◇ 「ありがとう」「こんにちは」「ごめんなさい」の言える心通じ合う街に
- ◇ 母として「子育て」「教育」を通じて子供たちに明るい未来を
- ◇ お年寄りや弱い立場の人も暮らしやすい街に



### ◇◇ 松下純子プロフィール ◇◇

文京区に生まれ、文京区に育つ。文京区立第一幼稚園・誠之小学校卒業。私立東京女学館中学校、高等学校卒業。東京家政学院短期大学家政科卒業。卒業後10年間のOL経験を経て子供たちに舞踏を教えはじめ。家族は父、母、姉、息子一人。文京区青少年対策向丘地区委員会。文京区ボーイスカウト連絡協議会顧問。